

賀 春



阿知須港の朝

絵・松代光正 (砂郷一区)

小さい申合わせ
「大きい輪に」
美しい郷土を育てよう



阿知須小学校の子どもたちがこのほろわたの申合わせとして次のようなことをしました。
それは、わたしたちの美しい郷土を守っていくこと、美しい心を育てていくことにあるのです。
こうして、小さい芽の発育ある申合わせを、大きな市民運動としても進めていこうではないかという所を定めています。
これは、あなたもその運動の推進者として参加したければ幸いです。

この阿知須町は花と緑と小島にめぐまれた美しい町です。
わたしたちは、この町の美しさを保つとともに、なおいっそう住みよい明るい町にするためにつぎのよう
なことを守りたいと学級会
児童代表委員会で話し合い
誓い合いました。
これは、わたしたち阿知
須町の子どもが大きくなつ
て、よい町民、よい日本人
として世界の国々の人たち
と仲よく生きるために大
きな決心をしています。
三、わたしたちの遊び場
はわたしたちの手できれ

- 一、自然をたいせつに
① 学校や公園や町の花や木をいためないようにだじにします。
② 小鳥をいじめないようにかみがります。
③ 池の魚などをいじめないようにします。
④ 紙くず、木くず、割れものなどを道路や、川にすてないようにします。
二、学校や公園や駅などをきれいに
① かしのつつみ紙や果物の皮などをすてないようにします。
② たんや、つばなどをはきちらさないようにします。
③ ガラスや、はり、くさなど捨てないようにします。
④ みんなの便所はきれいに使います。
⑤ 落書きはぜったいしないように心がけます。
⑥ 便所よりほかの所で用便をしないようにします。
⑦ そのほか人のめいわくになるようなことをしないようにします。
三、わたしたちの遊び場はわたしたちの手できれ
- | 日 | 時 | 場所 | 責任者 |
|---------------------|---|---------------------|--------|
| 各部落ごと、日曜日の朝 | | 各部落ごと、日曜日の朝 | 児童の部落長 |
| に集まり、およそ三十分間 | | に集まり、およそ三十分間 | 交通リーダ |
| ごみを拾い、草をぬきます | | ごみを拾い、草をぬきます | |
| 清掃場所 | | 清掃場所 | |
| 公園・公会堂 | | 公園・公会堂 | |
| の広場 | | の広場 | |
| 毎週、または隔週ごと日曜日の八時半ごろ | | 毎週、または隔週ごと日曜日の八時半ごろ | |

1月の行事予定

- 1日 新年互礼会(前10時半)
- 4日 ご用始め
- 5日 出初式
- 6日 耐寒ラジオ体操大会と親子たこ上げ大会(前9時半・阿知須小)
- 8日 三校始業式
- 9日 育児相談(後1時)
- 12日 股脱検診「3カ月・4カ月児」・乳児初期衛生教育(午後12時半)
- 15日 成人式(前9時・阿中体育館)
- 16日 交通安全・心配ごと相談(前10時～後3時)
- 18日 新入学児検診(後1時半・阿小)
- 19日 新入学児検診(後1時半・井小) 幼児学級(後1時半)
- 23日 献血(前9時～後4時)老人大学(前10時半)(場所の記入のないのは役場)

地籍簿をお見せします

町では、四十六年度から七年度の国勢調査ともいわれる地籍調査を行なっていますが、四十六年度分、岩倉、旦、飛石、砂郷一円、河内一部(約四・五平方キロ)の調査、測量が終了し、地籍簿が出来ました。このため、地主のみなさんに、間違いがないか確認していただくために、一、月十日から三十日まで、土曜日の午後、日曜日・祭日を除く午前八時半から午後四時半まで、役場産業課地籍係で見ていただくことになりました。
閲覧をされる人は、印鑑を持参されますようお願いいたします。

ことしの交通安全年間スローガン

<運転者向けのもの>

せまい日本 そんなに急いでどこへ行く

<歩行者向けのもの>

たしかめて またたしかめて ハイ横断

<こども向けのもの>

ぼくしない どうろのとびだし わるふざけ

心の美しい町



井関川のほとりの花壇はいつも手入れを

町長を囲む新春座談会

緑と花をより豊かに
マナーを育てて社会性も

新しい年を迎えて、人それぞれ考えも、希望も新たなものになる。そこで町内八人の方々に集まりいただき、中尾町長を開会しそれぞれ語り合っていたいただきました。このたびは座談会といっても司会のいない座談会。次から次へと思いのままを語っていただきました。このころには心をききれずに、そして私たちが住む環境をよりよくしたいこうというところに落ちついたようです。次はその発言のあらまします。

が悪いと感じました。スイスのモンブランに登ったとき岩肌に落書きがあったとそれは二人の日本人によるものでした。フランスのル・ブル博物館に入っても絵す。中学校を出たら島を離

をさわってみようとするのはやはり日本人でした。最近、海外旅行者がふえているが、国際的なマナーをそなえておくのが必要だと思います。

オアシス運動
を提唱したい

町長 昨年の秋、欧米九ても誰ともなにもあいきつ不満もつてい
 方国を視察させてもらいまをしっている。これは、よい
 人だが多い。
 松浦 そうで
 す。人の幸せと
 か、不幸はその
 人の心の持ち方
 口について日本人はマナー
 られません。

出席者
(写真右から・敬称略)

松浦	有朋(砂礫三)	・ちまきや
齊藤	利典(小古郷南)	・宇部不動座
中尾	岩雄(浜)	・町長
三好	正之(浜表)	・共立病院
岩崎	繁一(築地)	・中電機工
齊藤	照彦(浜)	・岩見屋
大沢	安子(西条)	・元婦人会長
中野	和子(岩倉前)	・同



ごみは捨てて拾う
より捨てない気を

即長 昨年、井関川の清たたくことがねらいの一つ
 部に出でいたのだが、こでもあったわけです。しか
 れはみんなに川をきれいにし、強制はしていません。
 部落によっては出られない
 入から何百円か徴収された

ところもあつたようですが
 それは町が関知するところ
 ではないと思つています。
 こうした奉仕の結果、川を
 きれいにし、喜びを味わう
 と共に、ごみを捨てて拾う



抱えていたという気持ちを抱えていたことが意義があったと喜び、また出られた人に感謝しております。

松浦 あの時はお実のところ、初めは乗り気ではなか



家族ぐるみで
楽しめる場を
斉藤利 施設面では児童
公園ができてよかったです

家族ぐるみで
楽しめる場を

斉藤利 施設面では児童公園ができてよかったですね。管理もよい。

岩崎 近所のご老人がよく気をつけておられるようです。老人福祉の問題も声

その一帯から、若者は老人仲が悪いといっている。だから、そうした施設ができる」と助かる人も多いようです。

町長 市町村は作るといいうことは判っています。が、財源は単なることで

が大人になっています。

西村 私は定年退職金は出す必要がないと思う。老後後援会が保障すれば老後を心配することはない。町立の養老院を作たらどうですか。

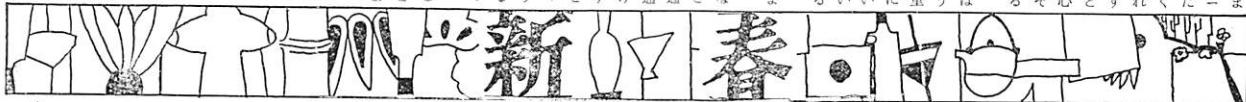
すから、ではないわけですから、町としては岡山の墓地を中心 naturally 公園を作り、家族ぐるみで親しむ場にしたところと計画を進めているところ

子どもの時から道徳を

三好 社会の生活程度が
進んできたため、いろいろ

てきたわけですね。その点から社会教育面の振興と普及が確かに必要ですね。

西村 徳育を進めるために子ども会を育てていくこと（次ページへ続く）

[illegible]

干拓利用は世論の中から

町民同士の争いを避けるためにも

三好　若い手が各地に雄飛しているが、死ぬ時に阿知須はよいとのおどろきというように心にのりどころのある地にはおきたいものがある。そこを五十年先きに推定される。五十手から。

齊藤利　そこで確めてくださいのは干拓地の利用ですね。これは町民の誰もが関心をもっていることですから。

土地開発というところがぐい
さなところがあるが……。

町長 レジャー的なもの
ばかりで伸びるか、工業で
伸びるか、これは里に町長
だけの判断でやるべきでは
ないと思っています。しか
し、天然資源に乏しい日本
という立場から考えれば、
外国の資源をとり入れ、そ
い。また、方向を示しても
むかしめたいが、町民同

町長 さっき申しまし
たように町長があるもの
ではなくて、世論の中から
方向を定めてもらいたい。
決まれば万難を排してでも
やります。反対というのは最近
何でと反対反対とななる
者がいるし、そうさせよう
とする人たちが多くなつて
います。町長はやめればす
と思うのです。

場ができるにしても、二軒
ぐらいでしょう。公費設備
もちゃんとやるような会社
を選び、条件つけていく
ようにしたい。何といつて
も阿知須はこれだけで荒され
たことのないきれいな処女
地です。それだけにまた、
慎重に考えていかなければ
ならないのです。



西村貴彦ちゃん（井関）

ただいま 60

これは何頭も一年、割合のいい牛です。町内には何頭もいる牛が飼われてはいるのでしょうか。家に二十頭くらいいます。確かに数字はつかめませんが和牛は百五十頭ぐらいです。頭、肥牛、乳牛のおスを六十頭、百八十頭います。一日約百五十本分ぐらいというかな。馬に現在、本町には一頭もなくなくなったといわれています。

前ページ続き

前ページ続き
とも効果が、それに最近、核家族化して日曜学校の老人と若い者と、対立の場のようなものでない。心のつながりがなかな子どもたちといのは非常にさびしいことと話合い、考え、だと思います。人間性、人させるような間味のある生活を送るような場をつくることがますます望まれるころともよいと思います。緑と太陽、それに人ます。

大浜 西村 の中からみて大切なことさんたちが若いとわかれるようにしたいときに童話のです。お互に、これら々をよく話して、こしの努力目標にして、くだきまして 私たちの住むところをよくしてください。よくしていただくは、教訓も入って せんか。

いましたが、
今もって忘れ
られないよう
なものがあ
ります。

みんなで守ろう郷土の花
ちぎるな！花一輪だって
生きている

美し心 美しい緑 そ
して美しい町を
緑をいためる君の心がい
たむ

依頼心を起し
やすいのです
三好 晋か
ら金持ち三代
続かずという
が、財を受す
愛そう緑と小鳥の町を
守ろう阿知須の顔と心を
みんなの願いで作られた
あそび道具を大切に

いろいろな体
験の中から新
しいものをは
きだす。苦勞を知らな
いからです。

ちよつと待て、そこに拾
てるとみんなが困る

（河田貞小學校主

徒の標語から)

[illegible]



転出年間 4 4 2 人



消防団員 60 人



犯罪年間 46 件

十二月一日現在

砂二 渡辺 宮子
授業中に抜けたと言いつつ末の子
の呉るる紙切れに白き乳歯あり

誕生日に、我等がもちより求め取
 しビニール財布のくねなるの花
 六人の子どもの教育なしたれ
 櫻に世に送るのた
 岩上 上重 朝子
 寺河内 兼重 きぬ
 「初雪だ」とはづめる孫の高き
 く雪雲隨子を押上げて見つ
 次回は二月十三日（土）午後三
 時から兼重きぬさん方で、難題
 首を十日までに。

わがそばにチェルニーを弾く子の
手もとかけりて向ひのビルに灯も
る

北祝 部坂 秩子

砂一 松代 二瓶

新しき自転車に乗る孫「由起也」
冬陽照る庭にはしゃぎ廻る

砂浜に小さき靴跡残しつつ走るの背に海の方が
西条 原出 双葉
手紙に添へ孫の白画像どか似
子供らしさに微笑みおぼゆ
砂三 藤水ミツノ
川岸に釣竿持ちて男の子あがる
なし我引き上げてやる

砂一 田村 鏡之
世話をやくわけにあらぬと孫思
「青年の主張」に我はきき入る
岩西 中本 幸枝
幼な子に密相むきやり午後の陽
さし込む座敷に妹と語る

新學期に指導を受けし学童の事
 なかりしと聞きやすらぐ
 飛石 砂村サスネ
 学期末試験終へて十曜日に然出
 し子と獨する朝

町民文芸

第44回阿知須短歌会詠草
勅題「子ども」によせて
浜 正司ウメノ

幼な子に密柑むきやり午後の陽の

新學期に指導を受け、学童の事
なかりしと聞きやすらく
飛石 砂村サス
学期末試験終へて土曜日に熱出
し子と弔する朝
砂一 田村 鏡
世話をやくわけにあらぬと孫思
「青年の主張」に我はきき入る

町民文芸